

第 1 8 章 福祉

第 1 教科目標，評価の観点及びその趣旨	福 - 1
第 2 各科目の評価の観点の趣旨	福 - 1
第 3 原則履修科目における内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例	福 - 3
社会福祉基礎	福 - 3
第 4 単元の評価に関する事例	福 - 1 0
社会福祉基礎	福 - 1 0

第 1 8 章 福祉

第 1 教科目標，評価の観点及びその趣旨

1 教科目標

社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的，体験的に習得させ，社会福祉の理念と意義を理解させるとともに，社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し，社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会福祉に関する諸問題について関心をもち，その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに，創造的，実践的な態度を身に付けている。	社会福祉に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，実際の仕事を合理的に計画し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，社会福祉の意義や役割を理解している。

第 2 各科目の評価の観点の趣旨

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会福祉基礎	社会福祉に対する関心をもち，福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組むとともに，社会福祉に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る創造的，実践的な態度を身に付けている。	日常生活から派生する社会福祉に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，社会福祉の意義や役割について適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	社会福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し，実習・調査・研究等で考察した過程や結果を適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	現代社会における社会構造の変容や特色について把握し，社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，社会福祉の理念について，その意義や役割を理解している。
社会福祉制度	社会福祉の法制度・社会福祉施設・社会福祉サービスについて関心をもち，その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに，創造的，実践的な態度を身に付けている。	社会福祉の法制度・社会福祉施設・社会福祉サービスに関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，社会福祉の現状について適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	社会福祉の法制度・社会福祉施設・社会福祉サービスの現状について観察・調査を行い，考察した過程や結果を適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	社会福祉の法制度・社会福祉施設・社会福祉サービスなどに関する基礎的・基本的な知識を身に付け，社会福祉の法理念と概要について，その意義や役割を理解している。
社会福祉援助技術	対人援助について関心をもち，社会福祉援助活動に意欲的に取り組むとともに，高齢者や障害者を中心とした自立生活を支援する創造的，実践的な態度を身に付けている。	高齢者や障害者に対しての社会福祉援助活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して社会福祉援助活動の現状について適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	高齢者や障害者に対しての対人援助に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，社会福祉援助活動を計画し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	高齢者や障害者に対しての対人援助に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，対人援助について，その意義や役割を理解している。
	介護に関する諸問題について関心をもち，	介護に関する諸問題の解決を目指して自	高齢者や障害者に対する基礎的・基本的	高齢者や障害者に対する介護に関する

基礎介護	よりよい介護を目指して意欲的に取り組むとともに創造的、実践的な態度を身に付けている。	ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して介護活動の現状について適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	な介護技術を身に付け、介護活動を計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	基礎的・基本的な知識を身に付け、介護について、その意義や役割を理解している。
------	--	--	---	--

第3 原則履修科目における内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

社会福祉基礎

1 目標

社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会福祉に対する関心をもち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組むとともに、社会福祉に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身に付けている。	日常生活から派生する社会福祉に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、社会福祉の意義や役割について適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	社会福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	現代社会における社会構造の変容や特色について把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の理念について、その意義や役割を理解している。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

社会福祉基礎においては、学習指導要領の内容の(1)や(2)などの大項目を内容のまとめりとして、評価規準を作成した。

(1) 「(1)現代社会と社会福祉」

【学習指導要領の内容】

ア 社会構造の変容と社会福祉

産業化・都市化や家族形態の変化、地域社会の変化などによる家族の扶養能力の低下や介護の社会化などについて取り上げ、家族形態や生活構造の変容が社会福祉に大きく影響していることを理解させる。

イ ライフサイクルと社会福祉

家族のライフサイクルをモデルケースとして、時代の経過に伴う変化について取り上げ、各ライフステージにおける社会保障制度とのかかわりや福祉ニーズの変化などを理解させる。

また、各ライフステージでの社会保障制度については、人の一生と社会福祉が大きなかかわりをもっていることを理解させる。

【「(1)現代社会と社会福祉」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
現代社会における社会構造の変容やライフサイクルに関心をもち、社会構造の変容やライフサイクルと社会福祉とのかかわりについて意欲的に追究する態度を身に付けている。	社会構造の変容が社会福祉に及ぼす影響、ライフサイクルと社会福祉とのかかわりについて自ら思考を深め、社会福祉の現状を多面的・多角的に考察している。	社会構造の変容やライフサイクルと社会福祉とのかかわりについて資料や情報を適切に選択して活用し、調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。	社会構造の変容が社会福祉に及ぼす影響、ライフサイクルと社会福祉とのかかわりについて把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付け、現代社会と社会福祉の関連性を理解している。

【「(1)現代社会と社会福祉」の評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・産業化・都市化による家族形態の変化や地域社会の変化に関心をもち、家族の扶養能力の低下や介護	・家族形態の変化や地域社会の変化などが社会福祉に及ぼす影響について自ら思考を深め、現代社会	・家族形態や地域社会の変化などが社会福祉に及ぼす影響について資料や情報を適切に選択して活用し、	・家族形態や生活構造の変容と社会福祉とのかかわりについて概観し、現代社会と社会福祉の関連性を

<p>の社会化などと社会福祉とのかかわりについて意欲的に追究する態度を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルの時代の経過に伴う変化について関心をもち、ライフサイクルの変化と福祉ニーズの変化について意欲的に追究する態度を身に付けている。 ・母子保健対策，保育対策，児童健全育成対策，失業対策，障害者（児）対策，高齢者対策などについて関心をもち，各ライフステージと社会保障制度とのかかわりについて意欲的に追究する態度を身に付けている。 	<p>における社会福祉とのかかわりを多面的・多角的に考察している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルの時代の経過に伴う変化について自ら思考を深め，福祉ニーズに対応し社会保障制度が変化することを多面的・多角的に考察している。 ・各ライフステージでの社会保障制度について自ら思考を深め，人の一生と社会福祉とのかかわりを多面的・多角的に考察している。 	<p>調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルの時代の経過に伴う変化と社会保障制度とのかかわりについて資料や情報を適切に選択して活用し，調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。 ・各ライフステージにおける社会保障制度について資料や情報を適切に選択して活用し調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。 	<p>理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルの時代の経過に伴う変化について把握し，時代の経過とともに福祉ニーズが変化し，社会保障制度も変化することを理解している。 ・母子保健対策，保育対策，児童健全育成対策，失業対策，障害者（児）対策，高齢者対策などについて基礎的・基本的知識を身に付け，人の一生と社会福祉とのかかわりについて理解している。
--	---	---	--

(2) 「(2)社会福祉の理念と意義」

【学習指導要領の内容】

ア 自立生活支援と社会福祉

社会福祉の理念が，経済的救済から自立生活支援へと変化してきたことを取り上げ，多様な自立生活を支える基本的な社会福祉サービスの考え方について理解させる。

イ 社会福祉の理念

社会福祉の理念については，日本国憲法が規定している生存権などを取り上げ，我が国の社会保障と社会福祉体系の概略，制度や民間活動としての社会福祉について理解させる。

【「(2)社会福祉の理念と意義」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>自立生活支援や社会福祉の理念について関心をもち，福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組む，社会福祉に関する幅広い視野と福祉観を養い，社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。</p>	<p>自立生活支援と社会福祉とのかかわりについて自ら思考を深め，社会福祉の理念や意義を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>自立生活支援や社会福祉の理念に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し，実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。</p>	<p>自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し，社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，社会福祉の理念と意義，役割を理解している。</p>

【「(2)社会福祉の理念と意義」の評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の理念の変遷とその過程について関心をもち，福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組み， 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立の概念について自ら思考を深め，自立生活支援と社会福祉とのかかわりを多面的・多角的に考察 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な自立生活を支える基本的な社会福祉サービスに関する様々な資料や情報を適切に選択して活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の理念が経済的救済から自立生活支援へと変化してきた過程について理解している。

<p>社会福祉に関する幅広い視野と福祉観を養い，社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な自立生活を支える社会福祉サービスについて関心をもち，福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組む，社会福祉に関する幅広い視野と福祉観を養い，社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。 ・人権尊重，権利擁護，ノーマライゼーション，自立生活運動などについて関心をもち，福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組む，社会福祉に関する幅広い視野と福祉観を養い，社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。 ・日本国憲法が規定している生存権などについて関心をもち，福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組み，社会福祉に関する幅広い視野と福祉観を養い，社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。 ・社会保障や社会福祉体系，制度や民間活動としての社会福祉について関心をもち，福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組み，社会福祉に関する幅広い視野と福祉観を養い，社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。 	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な自立生活を支える社会福祉サービスについて自ら思考を深め，自立生活支援と社会福祉とのかわりを多面的・多角的に考察している。 ・人権尊重，権利擁護，ノーマライゼーション，自立生活運動などについて自ら思考を深め，自立生活支援と社会福祉とのかわりを多面的・多角的に考察している。 ・日本国憲法が規定している生存権などについて自ら思考を深め，自立生活支援と社会福祉とのかわりを多面的・多角的に考察している。 ・社会保障や社会福祉体系，制度や民間活動としての社会福祉について自ら思考を深め，自立生活支援と社会福祉とのかわりを多面的・多角的に考察している。 	<p>し，実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重，権利擁護，ノーマライゼーション，自立生活運動などに関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し，実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。 ・日本国憲法が規定している生存権などに関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し，実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。 ・社会保障や社会福祉体系，制度や民間活動としての社会福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し，実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ，図表化したり，発表や討論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な自立生活を支える基本的な社会福祉サービスの考え方について理解している。 ・人権尊重，権利擁護，ノーマライゼーション，自立生活運動などについて理解している。 ・自立生活が，経済的，精神的，身体的，社会関係的な自立などが含まれていることについて理解している。 ・日本国憲法が規定している生存権や制度的，歴史的背景をとおして社会福祉の意味を理解している。 ・社会保障と社会福祉体系の概略，制度や民間活動としての社会福祉について理解している。
--	---	--	---

(3) 「(3)社会福祉の歴史」

【学習指導要領の内容】

ア 欧米における社会福祉

英国における社会福祉発展の概要を中心に扱い，福祉国家形成の過程を理解させる。アメリカ合衆国やスウェーデンなどにおける社会福祉の歴史的展開についても触れ，現在の社会福祉にどう結びついているかを理解させる。

イ 日本における社会福祉

我が国における社会福祉について明治以降を中心に扱い，歴史的展開を具体的に理解させる。

【「(3)社会福祉の歴史」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会福祉の歴史に対する関心をもち、社会福祉の歴史的発展経過について意欲的に追究する態度を身に付けている。	社会福祉の発展と歴史的展開について自ら思考を深め、社会福祉の現状と歴史的展開とのかかわりを多面的・多角的に考察している。	社会福祉の歴史に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。	社会福祉の発展と歴史的展開について把握し、基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の歴史について理解している。

【「(3)社会福祉の歴史」の評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・英国における歴史的展開として、エリザベス救貧法、新救貧法、慈善組織化運動、セツルメント運動、社会調査、ペバリッジ報告、シーボーム報告などについて関心をもち、福祉国家形成の過程を意欲的に追究する態度を身に付けている。 ・アメリカ合衆国におけるソーシャルワークの発展や社会保障法、障害をもつアメリカ人法（ADA）などについて関心をもち、ソーシャルワークの発展経過と現在の社会福祉とのかかわりを意欲的に追究する態度を身に付けている。 ・スウェーデンなどにおける歴史的展開として、ノーマライゼーションの源流と発展経過について関心をもち、現在の社会福祉とのかかわりを意欲的に追究する態度を身に付けている。 ・日本における歴史的展開として、恤救規則、救護法、民間の社会事業、社会福祉三法体制、社会福祉六法体制、社会福祉の見直し期や改革期などについて関心をもち、現在の社会福祉とのかかわりを意欲的に追究する態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国における社会福祉の歴史的展開と現在の社会福祉とのかかわりについて自ら思考を深め、社会福祉の歴史的展開を多面的・多角的に考察している。 ・日本における社会福祉の歴史的展開と現在の社会福祉とのかかわりについて自ら思考を深め、社会福祉の歴史的展開を多面的・多角的に考察している。 ・欧米諸国と日本との状況を対比させながら自ら思考を深め、福祉国家形成の過程を多面的・多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国や日本の社会福祉の歴史に関する資料や情報を活用し、調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英国における歴史的展開として、エリザベス救貧法、新救貧法、慈善組織化運動、セツルメント運動、社会調査、ペバリッジ報告、シーボーム報告などについて把握し、基礎的・基本的な知識を身に付け、福祉国家形成の過程について理解している。 ・アメリカ合衆国におけるソーシャルワークの発展や社会保障法、障害をもつアメリカ人法（ADA）などについて把握し、基礎的・基本的な知識を身に付け、ソーシャルワークの発展経過と現在の社会福祉とのかかわりを理解している。 ・スウェーデンなどにおける歴史的展開として、ノーマライゼーションの源流と発展経過について把握し、基礎的・基本的な知識を身に付け、現在の社会福祉とのかかわりを理解している。 ・日本における歴史的展開として、恤救規則、救護法、民間の社会事業、社会福祉三法体制、社会福祉六法体制、社会福祉の見直し期や改革期などについて把握し、

<p>欲的に追究する態度を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわりを意欲的に追究する態度を身に付けている。 			<p>基礎的・基本的な知識を身に付け、現在の社会福祉とのかかわりを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国と日本との状況を対比させ、歴史的展開と現代社会における社会福祉とのかかわりを理解している。
--	--	--	---

(4) 「(4)社会福祉分野の現状と課題」

【学習指導要領の内容】

ア 公的扶助

生活保護制度が生まれてきた社会的背景、理念、現状について理解させるとともに、公的扶助の課題について考えさせる。

イ 児童家庭福祉

児童家庭福祉関係法が生まれてきた社会的背景、理念、代表的な社会福祉施策の概要と現状について理解させるとともに、児童家庭福祉の課題について考えさせる。

ウ 高齢者・障害者福祉

高齢者・障害者福祉関係法が生まれてきた社会的背景、理念、代表的な社会福祉施策の概要と現状について理解させるとともに、高齢者・障害者福祉の課題について考えさせる。

エ 地域福祉

地域に働きかける援助としての地域福祉について、在宅福祉や施設福祉のサービスや社会福祉施設、関係機関を取り上げ、それらを総合して、その地域の福祉力を高める体系の一つであることを理解させるとともに、地域福祉の課題について考えさせる。また、地域福祉の推進を図るための福祉関連資源とその活用についても理解させる。

【「(4)社会福祉分野の現状と課題」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>社会福祉の各分野に対する関心をもち、各分野の現状と課題を意欲的に追究する態度を身に付けている。</p>	<p>社会福祉の各分野の概要について自ら思考を深め、各分野の現状と課題を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>社会福祉の各分野に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。</p>	<p>社会福祉の各分野の概要について把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、各分野の社会的背景と理念、現状と課題を具体的に理解している。</p>

【「(4)社会福祉分野の現状と課題」の評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度の基本原則や保護の原則、保護の動向などについて関心をもち、公的扶助の現状、代表的な施策と課題について意欲的に追究する態度を身に付けている。 ・児童家庭福祉関係法や出生数及び合計特殊出生率、人口構成、平均世帯人員、労働 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度、児童家庭福祉関係法、高齢者関係法、障害者関係法が生まれてきた背景、理念、代表的な施策について自ら思考を深め、公的扶助、児童家庭福祉、高齢者福祉、障害者福祉の現状と課題について多面的・多角的に考察している。 ・地域福祉の推進を図 	<ul style="list-style-type: none"> ・公的扶助、児童家庭福祉、高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度の基本原則や保護の原則、保護の動向など公的扶助、代表的な施策と課題に関して理解している。 ・児童家庭福祉関係法や出生数及び合計特殊出生率、人口構成、平均世帯人員、労働力率、代表的な施策と課題など児童家庭福祉に関して理解し

<p>力率などについて関心をもち、児童家庭福祉の現状、代表的な施策と課題について意欲的に追究する態度を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者関係法や高年齢者の将来推計、高齢化の速度、人口構成、平均寿命などについて関心をもち、高齢者福祉の現状、代表的な施策と課題について意欲的に追究する態度を身に付けている。 ・障害者関係法や障害の概念と障害の法的定義、障害者の実態について関心をもち、障害者福祉の現状、代表的な施策と課題について意欲的に追求する態度を身に付けている。 ・在宅福祉や施設福祉のサービスや社会福祉施設、関係機関、福祉関連資源について関心をもち、地域福祉の現状、代表的な施策と課題について意欲的に追究する態度を身に付けている。 	<p>るための様々な福祉関連資源とその活用について自ら思考を深め、地域福祉の現状と課題について多面的・多角的に考察している。</p>		<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者関係法や高年齢者の将来推計や高齢化の速度、人口構成、平均寿命、代表的な施策と課題など高齢者福祉について理解している。 ・障害者関係法や障害の概念と障害の法的定義、障害者の実態、代表的な施策と課題など障害者福祉に関して理解している。 ・在宅福祉や施設福祉のサービス、社会福祉施設、関係機関、福祉関連資源と課題など地域福祉に関して理解している。
---	--	--	---

(5) 「(5)社会福祉の担い手と福祉社会への展望」

【学習指導要領の内容】

福祉社会を創造していくためには、社会福祉従事者だけでなく、相互扶助の精神に基づいた国民一人一人の意識改革が必要であることについて理解させる。

【「(5)社会福祉の担い手と福祉社会への展望」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>社会福祉の担い手と福祉社会について関心をもち、福祉社会の課題に意欲的に取り組み、豊かな福祉社会の創造を目指した社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。</p>	<p>社会福祉の担い手と福祉社会について自ら思考を深め、福祉社会への展望と社会福祉の担い手とのかかわりを多面的・多角的に考察している。</p>	<p>社会福祉の担い手と福祉社会に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。</p>	<p>社会福祉の担い手と福祉社会について把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、豊かな福祉社会の創造について理解している。</p>

【「(5)社会福祉の担い手と福祉社会への展望」の評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉従事者とその専門性について関心をもち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組み、豊かな福祉社会を創造する態度を身に付けている。 ・相互扶助の精神に基づいた国民の一人一人の意識の改革の重要性について関心をもち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取組、豊かな福祉社会を創造する態度を身に付けている。 ・人間の尊厳，ノーマライゼーションについて関心をもち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取組、基本的人権を尊重する豊かな福祉社会を創造する態度を身に付けている。 ・バリアフリーなどについて関心をもち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取組、豊かな福祉社会を創造する態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉従事者とその専門性について自ら思考を深め、福祉社会の創造と社会福祉の担い手とのかかわりを多面的・多角的に考察している。 ・相互扶助の精神に基づいた国民の一人一人の意識の改革の重要性について自ら思考を深め、福祉社会の創造と社会福祉の担い手とのかかわりを多面的・多角的に考察している。 ・人間の尊厳，ノーマライゼーションについて自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識を活用し、福祉社会の創造と社会福祉の担い手とのかかわりを多面的・多角的に考察している。 ・バリアフリーなどについて自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識を活用し、福祉社会の創造と社会福祉の担い手とのかかわりを多面的・多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉従事者とその専門性に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。 ・相互扶助の精神に基づいた国民の一人一人の意識の改革の重要性に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。 ・人間の尊厳，ノーマライゼーションに関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。 ・バリアフリーなどに関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉従事者とその専門性について把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、豊かな福祉社会の創造について理解している。 ・相互扶助の精神に基づいた国民の一人一人の意識の改革の重要性について把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、豊かな福祉社会の創造について理解している。 ・人間の尊厳，ノーマライゼーションについて把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、豊かな福祉社会の創造について理解している。 ・バリアフリーなどについて把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、豊かな福祉社会の創造について理解している。

第4 単元の評価に関する事例

社会福祉基礎

ここでは、第1学年における社会福祉基礎の単元「(3) 社会福祉の歴史 イ 日本における社会福祉」の学習指導と評価の事例を紹介する。この事例は、次のような手順を踏んで評価をしている。

- ・単元の評価規準を設定する。
- ・指導と評価の計画を立て、どこでどのような方法で評価するかを決める。
- ・計画に従い学習指導と評価を行い、その結果をフィードバックしつつ個に応じた指導をすすめる。
- ・評価資料を蓄積し、単元の学習後の観点別評価を総括する。

単元名 「社会福祉の歴史」

イ 日本における社会福祉 (12時間)(第1学年)

1 単元の目標

- (1) 我が国における社会福祉について、主に明治以降の歴史的展開に対する関心を高めさせ、意欲的に追究させる。
- (2) 我が国における社会福祉について、主に明治以降の歴史的展開と社会福祉の現状とのかかわりを多面的・多角的に考察させる。
- (3) 我が国における社会福祉について、主に明治以降の歴史的展開に関する資料や情報を収集させ、適切に選択して活用させるとともに、課題を追究し考察した過程や結果をまとめさせたりする。
- (4) 我が国における社会福祉について、主に明治以降の歴史的展開に関する基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。

2 単元の評価規準

	内容のまとまりごとの評価規準	単元の評価規準	学習活動における具体的評価規準
ア 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	社会福祉の歴史に対する関心をもち、社会福祉の歴史的発展経過について意欲的に追究する態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における歴史的展開として、恤救規則、救護法、民間の社会事業、社会福祉三法体制、社会福祉六法体制、社会福祉の見直し期や改革期などについて関心をもち、現在の社会福祉とのかかわりを意欲的に追究する態度を身に付けている。 ・欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわりを意欲的に追究する態度を身に付けている。 	近代以前と明治以降から戦前までの社会福祉の歴史について関心をもち、現在の社会福祉とのかかわりを追究する態度を身に付けている。戦後の社会福祉の歴史について関心をもち、現在の社会福祉とのかかわりを追究する態度を身に付けている。欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわりを追究する態度を身に付けている。
イ 思 考 ・ 判 断	社会福祉の発展と歴史的展開について自ら思考を深め、社会福祉の現状と歴史的展開とのかかわりを多面的・多角的に考察している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における社会福祉の歴史的展開と現在の社会福祉とのかかわりについて自ら思考を深め、社会福祉の歴史的展開を多面的・多角的に考察している。 ・欧米諸国と日本との状況を対比させながら自ら思考を深め、福祉国家形成の過程を多面的・多角的に考察している。 	近代以前と明治以降から戦前までの社会福祉の歴史を多面的・多角的に考察し、現在の社会福祉とのかかわりについて思考している。戦後の社会福祉の歴史を多面的・多角的に考察し、現在の社会福祉とのかかわりについて思考している。欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわりについて多面的・多角的に考察している。
ウ 技 能 ・ 表 現	社会福祉の歴史に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会福祉の歴史に関する資料や情報を活用し、調査・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論したりしている。 	日本の社会福祉の歴史に関する資料や情報を適切に選択し、その概要を客観的に把握するとともに、その過程や結果を具体的かつ的確に表現している。

工 知 識 ・ 理 解	社会福祉の発展と歴史的展開について把握し、基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の歴史について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における歴史的展開として、恤救規則、救護法、民間の社会事業、社会福祉三法体制、社会福祉六法体制、社会福祉の見直し期や改革期などについて基礎的・基本的な知識を身に付け、現在の社会福祉とのかかわりを理解している。 ・欧米諸国と日本との状況を対比させ、歴史的展開と現代社会における社会福祉とのかかわりを理解している。 	近代以前と明治以降から戦前までの社会福祉の歴史について理解し、その知識を身に付けている。戦後の社会福祉の歴史について理解し、その知識を身に付けている。欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわりを理解している。
----------------------------	---	---	--

3 指導と評価の計画

(1) 授業の流れ（総時数 12 時間）

第一次 戦前の社会福祉のあゆみ

「近代社会以前の営み」(1 時間)

「明治以降の社会福祉の発展」(2 時間)

第二次 戦後の社会福祉のしくみと発展

「戦後の緊急援護と基盤整備」(1 時間)

「高度経済成長と社会福祉」(2 時間)

「福祉元年とその後の社会福祉」(2 時間)

「福祉社会に向けた制度改革」(2 時間)

第三次 「単元のまとめ」(2 時間)

(2) 指導と評価の展開例

次程	ねらい・学習活動	単元の評価規準との関連	評価方法等
第一次 (3 時間 扱い)	戦前の社会福祉のあゆみについて理解する。 (1) 近代社会以前の営み(古代社会の慈善救済・中世社会の慈善救済・近世社会の慈善救済)について、救済の状況やこれに関わった人物について調べる。 (2) 明治維新以降、慈善から感化救済事業への変遷について概観する。また、この時期の恤救規則の内容や慈善家とその活動について調べる。 (3) 社会事業の成立した背景と意義、厚生事業への転換について考える。また、救護法の内容や戦時体制の厚生事業の特質を調べる。	アの イの エの	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察(受講の状況) ・学習プリント
第二次 (7 時間 扱い)	戦後の社会福祉のあゆみについて理解する。 (1) 戦後の社会福祉体制確立期の概要を理解し、その後の社会福祉への影響を調べる。 (2) 高度経済成長と社会福祉との関連について概観し、福祉三法から福祉六法への流れと内容を調べる。 (3) 福祉土制度や3プランについて、社会背景との関連について調べる。 (4) 福祉分野の地方分権の状況と介護保険の社会的必要性について調べる。 (5) 社会福祉基礎構造改革の意義を理解し、社会福祉事業法から社会福祉法への移行における改善点を調べる。	アの アの イの イの エの エの	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察(受講の状況) ・学習プリント
第三次 (2 時間 扱い)	単元のまとめをする。 (1) 今までの学習内容を学習プリントにより整理する。 (2) 各自のテーマに沿った情報を収集し、それをまとめる。 (3) 単元全体の自己評価を行い、自分の理解度を確認する。	ウの	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート

4 観点別評価の進め方

評価を行うに当たっては、学習活動における具体の評価規準を設定し、これに照らして、まず「おおむね満足できると判断される」状況（B）（以下、「おおむね満足できる」状況（B）と表記する）か、「努力を要すると判断される」状況（C）（以下、「努力を要する」状況（C）と表記する）にあって手だてが必要であるかをみる。

さらに、「おおむね満足できる」状況（B）と評価されるもののうち、生徒の実現の程度について質的な高まりや深まりを持つと考えられるとき、「十分満足できると判断される」状況（A）（以下、「十分満足できる」状況（A）と表記する）であるとする。

(1) 基本的な考え方

「十分満足できる」状況（A）の視点

「十分満足できる」状況（A）とは、「おおむね満足できる」状況（B）のうち、以下に例示されるような状況がみられる場合である。

(ア) 関心・意欲・態度

学んだことをもとに自ら課題を持ち、その解決に向けて意欲的に取り組んだり、学習したことをもとに発展的内容について調べるなど生徒の主体的な活動や態度が見られる場合。

(イ) 思考・判断

新しく学んだことがらを既習内容と関連づけたり、適切な資料などをもとにより広い視野から発展的考察をしている場合。

(ウ) 技能・表現

適切な資料や情報を活用し、具体的でわかりやすくまとめ発表するなどの工夫が見られた場合。

(エ) 知識・理解

基礎的・基本的な知識を確実に身に付けた上で、既習内容と関連づけて、社会福祉の概要を理解できている場合。

「努力を要する」状況（C）と評価される生徒への対応の仕方

個々の生徒の実態を把握し、状況に即してより具体的な資料を提示したり、学習の進め方について助言したりする。

(ア) 関心・意欲・態度

行動観察（受講の状況）や学習プリントを通して、学習のねらいを確認させた上で、何をどのように取り組んだらよいかを具体的に助言する。

(イ) 思考・判断

学習プリントを通して、適切な資料をもとに広い視野から社会福祉の意義について再確認したり、創意工夫するための着眼点等を提示する。

(ウ) 技能・表現

適切な情報を提供し、調べた内容を確認するとともに、自分の意見のまとめ方や表現方法について個別に指導する。

(エ) 知識・理解

学習プリントの整理と解説を通して、個別に指導を行い理解を深める。

(2) 基本的な考え方に基づく具体例

「学習活動における具体の評価規準」に照らして、「十分満足できる」状況（A）と評価される具体例及び「努力を要する」状況（C）と評価される生徒への手だてを以下のようにまとめた。

	学習活動における 具体の評価規準	「十分満足できる」状況（A）と 評価される具体例	「努力を要する」状況（C） と評価される生徒への手だて
ア 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	近代以前と明治以降から戦前までの社会福祉の歴史に関心をもち、現在の社会福祉とのかかわりを追究する態度を身に付けている。	近代社会以前と明治以降の社会福祉の歴史や慈善家とその活動について、学習プリントに自主的に調べた内容を記入し、施策の変遷と現在の社会福祉とのかかわりについて自分の考えを述べている。	学習プリントの記入状況を点検し、歴史上有名な人物や地元の慈善家とその活動について関心・興味のある事項を引き出し、記入させる。
	戦後の社会福祉の歴史について関心をもち、現在の社会福祉とのかかわりを追究する態度を身に付けている。	戦後の社会福祉の歴史について、学習プリントに自主的に調べた内容を記入し、現在の社会福祉とのかかわりについて自分の考えを述べている。	学習プリントの記入状況を点検し、また、戦後の状況について自分の祖父母の話などから身近な具体例を記入させる。
	欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわり	欧米諸国と日本との対比について、学習プリントに自主的に調べた内容を記入し、現在の社会福祉	学習プリントの記入状況を点検し、欧米諸国の社会福祉の歴史について整理させ、その

	わりを追究する態度を身に付けている。	とのかかわりについて自分の考えを述べている。	内容と現在の日本の社会福祉との関連事項を記入させる。
イ 思考・判断	近代以前と明治以降から戦前までの社会福祉の歴史を多面的・多角的に考察し、現在の社会福祉とのかかわりについて思考している。	教科書や資料を用いて、学習プリントに自分で調べた内容や社会福祉が慈善事業からの出発であったという視点と社会福祉施策とその時代背景についてまとめ、現在の社会福祉とのかかわりについて考察した内容を記入している。	教科書や資料を用いて、学習プリントに歴史上有名な人物や地元に関係する慈善家を整理して記入させるとともに、該当箇所の補助プリントを活用して社会福祉の施策とその時代背景を考えさせる。
	戦後の社会福祉の歴史を多面的・多角的に考察し、現在の社会福祉とのかかわりについて思考している。	教科書や資料を用いて、学習プリントに自分で調べた内容や各時期の社会福祉施策とその時代背景についてまとめ、現在の社会福祉とのかかわりについて考察した内容を記入している。	教科書や資料を用いて、学習プリントに各時期の特色を整理して記入させるとともに、該当箇所の補助プリントを活用して各時代における社会福祉の在り方考えさせる。
	欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわりについて思考している。	教科書や資料を用いて、学習プリントに自分で調べた内容や欧米と日本との比較についてまとめ、現代の社会福祉とのかかわりについて考察した内容を記入している。	教科書や資料を用いて、学習プリントに欧米諸国の社会福祉の内容を整理させるとともに、該当箇所の補助プリントを活用して現在の日本の社会福祉とのかかわりについて考えさせる。
ウ 技能・表現	日本の社会福祉の歴史に関する資料や情報を適切に選択し、その概要を客観的に把握するとともに、その過程や結果を具体的かつ的確に表現している。	日本の社会福祉の歴史に関する資料や情報を収集し、その概要を把握するとともに、自分の考えをレポートにわかりやすくまとめている。	教科書や資料を用いて、学習プリントに日本の社会福祉について調べた内容を整理させ、そこから自分の考えをレポートにまとめさせる。
エ 知識・理解	近代以前と明治以降から戦前までの社会福祉の歴史について理解し、その知識を身に付けている。	学習プリントに近代以前と明治以降の社会福祉の歴史について正確に記入し、わかりやすく記入している。	学習プリントの記入状況を点検し、該当箇所の補助プリントを活用して、近代以前と明治以降の社会福祉の歴史について整理させ記入させる。
	戦後の社会福祉に歴史について理解し、その知識を身に付けている。	学習プリントに戦後の社会福祉の歴史について正確に記入し、わかりやすく記入している。	学習プリントの記入状況を点検し、該当箇所の補助プリントを活用して、戦後の社会福祉の歴史について整理させ記入させる。
	欧米諸国と日本との状況を対比させ、現代社会における社会福祉とのかかわりを理解している。	学習プリントに欧米諸国と日本の社会福祉との対比について正確に記入し、わかりやすく記入している。	学習プリントの記入状況を点検し、補助プリントを活用して、欧米諸国と日本の社会福祉との対比を整理させ記入させる。

(注)「努力を要すると判断される」状況(C)と評価される生徒への手だてについては、授業中適宜行ったり、授業後において行ったりする。

5 観点別評価の総括

単元の観点別評価の総括を行う方法としては、「学習活動における具体の評価規準」に照らして、学習活動における各規準ごとにA, B, Cの3段階で評価を行い、単元が終了した段階で観点ごとにA, B, Cの判定をする。

総括する具体的な方法として、A, B, Cの個数や割合に基づく方法やA, B, Cを数値に換算して

集計する方法が考えられる。

本事例では、「学習活動における具体の評価規準」の各規準ごとに、A、B、Cの3段階で評価を行い、「十分満足できる」状況（A）を3点、「おおむね満足できる」状況（B）を2点、「努力を要する」状況（C）を1点として点数化し、各観点別の合計点を各規準の数で除した数値を下記の「観点別評価の分割点」に合わせて評価を行った。

この教科は、社会福祉関連の職業に従事する者の育成を目的とし、介護福祉士国家試験受験資格の取得を目指していることから、「おおむね満足できる」状況（B）以上が国家試験に対応するレベルであると設定し、観点別評価の分割点を下記の通りとしている。

なお、「努力を要する」状況（C）と評価される生徒については、教科の目的を達成するため、補充等の指導を行い、「おおむね満足できる」状況（B）以上の評価となるような取組が求められる。

日本における社会福祉	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
一次	A	A		B
二次	A A	B B		B C
三次			B	
点数化	$3A \div 3$ $= 3 \times 3 \div 3$ $= 3.0$	$(A + 2B) \div 3$ $= (3 + 2 \times 2) \div 3$ $= 2.34$	$B \div 1$ $= 2 \div 1$ $= 2.0$	$(2B + C) \div 3$ $= (2 \times 2 + 1) \div 3$ $= 1.67$
-----	-----	-----	-----	-----
単元での評価	A	B	B	C

A：「十分満足できる」状況（A）、B：「おおむね満足できる」状況（B）、C：「努力を要する」状況（C）

観点別評価の分割点

$$2.5 < A$$

$$2.0 < B < 2.5$$

$$C < 2.0$$

6 参考資料

(1) 学習プリント

学習プリントは、授業内容の定着・確認するために活用するプリントである。

第二次：戦後の社会福祉のしくみと発展「戦後の緊急援護と基盤整備」(1時間)の学習プリント

(月 日)
氏名 _____

1 『社会福祉三法』の成立に関する年表を完成させなさい。

年代	世界の動き	日本の動き	社会福祉の動き
昭和20年(1945)	国際連合発足	第2次世界大戦終結 [1] 制定	[2] 法制定
昭和21年(1946)			[3] 法制定
昭和22年(1947)	世界人権宣言	日米安全保障条約調印	[4] 法制定
昭和23年(1948)			新 [2] 法制定
昭和24年(1949)			[5] 法制定
昭和25年(1950)			朝日訴訟開始
昭和26年(1951)			
昭和27年(1957)			

2 終戦直後の社会状況についてまとめなさい。

3 終戦直後の福祉の課題についてまとめなさい。

4 次の各法の課題について考えなさい。

『生活保護法』(旧法)

(新法)

『児童福祉法』

『身体障害者福祉法』

5 『社会福祉事業法』の内容についてまとめなさい。

(2) 補助プリント

補助プリントは、各授業において、「努力を要する」状況（C）と評価した生徒に対し活用するプリントで、努力を要すると評価した箇所を整理・記入させることにより、理解を深める。

第二次：戦後の社会福祉のしくみと発展「戦後の緊急援護と基盤整備」（1時間）の補助プリント

1 社会福祉体制の確立：占領期〔昭和20年(1945)～昭和26年(1951)〕

終戦直後の社会状況

* 「[1] 状態」

(1) 原因...戦局末期からの激しい生活破壊，戦後の経済的・社会的混乱
深刻な食糧不足，住宅不足，物資不足

(2) 生活苦...[2]者，引揚者，失業者，母子，孤児，障害者，[3]，浮浪者など

すぐ救済を必要とする要援護者 = 約[4]万人

[5] (連合国総司令部) の政策

* GHQとは

(1) 「General Headquarters」の略

(2) 総司令官[6]〔在任：昭和20年(1945)～昭和26年(1951)〕

(3) 占領政策に関する指令発信

* 占領方針...[7]化と[8]化

戦前の[9]事業を解体して，新しい民主的な社会福祉施策創出

『[10]』の成立...緊急を要する課題への対策

* 公的扶助 [11]法

* 児童保護 [12]法

* 障害者救済 [13]法

『(旧)生活保護法』〔昭和21年(1946年)〕

* GHQの「[14]」(SCAPIN第775号)〔昭和21年(1946)2月〕

* 公的扶助の「4原則」

(1) [15]の原則

(2) [16]の原則

(3) 救済の[17]

(4) 必要な救済は制限しない

* 旧生活保護法の性格

(1) 要保護状態にある者を国が無差別に救済することを明記

(2) 最低生活保障の原則

(3) 戦前の[18]的性格を残存 = 保護受給権の否定

『(新)生活保護法』〔昭和25年(1950)〕

* 旧法改正の必要性

* 日本国憲法第25条[19]権の具体化

(1) 保護請求権認める

(2) 教育・住宅扶助の追加

(3) 公私の分離...社会福祉主事の任用，民生委員の協力機関化

『児童福祉法』〔昭和22年(1947)〕

* 「児童」= 戦争で最大の被害者... 戦災児童, 戦災孤児, 貧困児童, 病弱児童, 長期欠席児童, 非行・犯罪児童, 混血児童

民間[20]]等に対応するも総合的立法制度必要

* 内容... 18歳未満のすべての児童への育成責任を国・自治体・保護者が負う

* 「[21]]」という名称が初めて立法名に登場

『身体障害者福祉法』〔昭和24年(1949)〕

* 他の二法よりも制定遅れた理由

G H Q の[22]]政策

当時の身体障害者に[23]]が多く含まれていたため G H Q が傷病軍人中心の施策を否定し, 対応が遅れた。

cf) 身体障害者約49万人中, 退役傷痍軍人32万人余り

* 内 容... 18歳以上の身体障害者への更生援護

* 問題点... [23]]を除外

『社会福祉事業法』〔昭和26年(1951), 現『社会福祉法』〕

* 社会福祉行政における「6目標」

- (1) 厚生行政地区制度の確立
- (2) 市厚生行政の再組織
- (3) [24]]省の助言的措置及び実施事務
- (4) 公私責任分野の明確化
- (5) [25]]の設置
- (6) 有給専門吏員の現任訓練

* 性格

(1) 社会福祉法制の基本的な位置を占める... 社会福祉全般に関わる考え方や理念

(2) 社会福祉行政機構, 社会福祉推進組織, 社会福祉事業の在り方

* 主な内容

(1) [26]]の設置 = 福祉に関する事務所

(2) [27]] = 有給専門吏員

専門職員の教育と養成の必要... 日本社会事業学校(東京)

大阪社会事業学校(大阪)

(3) 社会福祉協議会の設置